

岩手県立高田高等学校 広報



令和4年度第16号

# 八重の汐

技 訓  
至 誠  
錬 磨  
創 造



防災リュック班での探究活動

**東京都立本所高等学校との交流**  
七月十七日(日)の午前中、市内高田町で、本校の生徒達と、東京都立本所高校の生徒の皆さんが、地域の課題解決をテーマにしたワークショップを行いました。交流しました。  
本所高校の二・三学年生徒の皆さん十一名は、国際連合の持続可能な開発目標(SDGs)の研修旅行で陸前高田市を訪問し、本校二・三学年の参加を希望した九名と、防災や地域の事業者活性化の在り方を探究しました。  
当日は、防災リュック制作のためのワークショップを行う班と、SNSを活用した情報発信を考える班の二班に分かれて活動しました。



参加した生徒達は、この交流を通じて、地域課題を多角的な視点から捉えその解決策を探りながら、持続可能性についての考えを深めることができました。大変貴重な機会になりました。



SNSを活用した情報発信班での探究活動

防災リュックの班はアバッセたかたで、情報発信の班はおかず屋和笑輪で交流しました。



保健講話の様子



**一学年保健講話**  
七月二十日(水)の七校時、氷上ホールを会場として、二学年生徒を対象に、岩手県立大船渡病院で助産師をされている村上直子様と松野綾夏様をお招きして、保健講話が開催されました。  
この講話で、命の大切さや若年妊娠の危険性、望まない妊娠の影響などについて学びました。

**空き家維持・整理活動体験**  
七月二十六日(火)の三・四校時、二学年の普通科文系Aコース(専門学校進学)

**コミュニケーションカフェ運営体験**  
七月二十四日(日)、福祉や食などに関心を持つ二・三学年の希望生徒七名が、有限会社社日に青い様が運営する高田町のコミュニケーション・カフェ「Sunny×Blue」で、カフェの仕事を経験しました。  
この体験で、生徒考案のオリジナルメニューの提案や、高齢者の方々の交流を通じて、地域の課題を多角的な視点から捉えるとともに、その解決策とこれからの地域のコミュニケーションのあり方についての考えを深められました。



カフェ Sunny×Blue での運営体験

と就職を目指すコース)の生徒が、市内竹駒町でNPO法人高田暮舎様で「泊まれる古本屋・山猫堂」として整備している空き家で、五月十九日(木)の活動に続く、二回目の空き家維持・整理活動体験を行いました。  
この体験で、地域や私たち自身が直面している課題について、考えを深められました。



整理活動中



本校の公式ホームページにアクセスするQRコード



note における本校のページにアクセスするQRコード